

# PMAILサーバー

設定内容  
マニュアル準拠で記載  
備忘メモ

2021/10/20

**PMAIL:HELP**マニュアルの接続先 <http://akisoftware.com/pmsrv/help/>

サポート Software Labo A.K.I Software (Hiroaki Matsuda) Homepage : <https://akisoftware.com/> E-Mail : [support@akisoftware.com](mailto:support@akisoftware.com)

購入 (PMailServer2 Pro版, Ver2.47) ライセンス : 2021にSTDからのアップグレード

使用サーバー (WIN2019、ドメイン=ja5bga.Com、)

使用目的、趣味のグループメンバー間のみのメーリングリスト登録者以外は使用不可 & 自宅内のアウトルックでのアカウント割当  
WebmailはIISにて設定済 : [EDXG](http://EDXG) (「愛媛DXグループ」アマチュア無線) Homepage ([dokitoki.ne.jp](http://dokitoki.ne.jp)) & JA5BGA.COM との連携 (復旧済)

**松田様** たびたびお手数をおかけしています。

今月10日の夜にウイルスのためサーバーが使えなくなり再構築をしています。

(従来はフォルダー全体を別ドライブにバックアップをしていたのですが、このファイルまで全て侵されサーバーそのものが機能しない状態でしたので、今回は毎日のイメージバックアップを取るようにしました。)

過去の設定が全てウイルスによりNGとなり松田様のマニュアルのみが参考ですが知識不測で3ページのようにアウトルックでエラーが出ていますが、理解が出来ず困っています。

セキュリティを強化したいのですが、なかなかうまく行っていません。仕事が忙しいとお聞きしている中恐縮です。

なんども聞くのは大変なので今回は備忘メモを作成しました。

設定上の誤りや改善場所等とがありましたらアドバイスをいただければ幸いです。

今後は、このファイルを更新していき極力ご迷惑をおかけしないようにしたいと思います。(修正場所をアドバイス願います)

PMailServer2 Manager (C) 2004-21 A.K.I Software All Right Reserved.

ファイル(F) オプション(O) ツール(T) 外部ソフト(E) ヘルプ(H) バージョン(A) 最小化(N)

ステータス アカウント管理 サーバー管理

サービス管理

メールサーバ 稼働中  
パス C:\pmsrv\pmservice.exe  
サービスが登録されていません。

内蔵ウェブサーバ 停止中

更新

サービスをインストール サービスを開始 サーバーを停止

回復オプションを有効

サービスをアンインストール 再起動 中断

メンテナンス

SMTP POP3 IMAP4 MTA

緑 - 稼働 赤 - メンテナンス  
クリックで切り替え

PSMonitor開始 PSMonitor停止

CPUメーター



## Ja5bga.com環境

IP アドレスを自動的に取得する(O)

次の IP アドレスを使う(S):

IP アドレス(I): 192 . 168 . 1 . 55

サブネット マスク(U): 255 . 255 . 255 . 0

デフォルト ゲートウェイ(D): 192 . 168 . 1 . 1

DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する(B)

次の DNS サーバーのアドレスを使う(E):

優先 DNS サーバー(P): 211 . 8 . 1 . 251

代替 DNS サーバー(A): 211 . 8 . 0 . 253

## ネットワーク プロファイル

パブリック

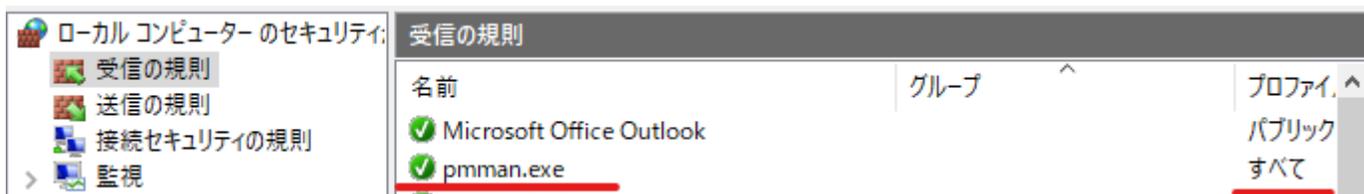
お使いの PC は、ネットワーク上のその他のデバイスから隠され、プリンターやファイルの共有に使用できません。

プライベート

ホーム ネットワークまたは社内ネットワークなど、信頼するネットワーク向け。お使いの PC は発見可能になり、設定した場合はプリンターやファイルの共有に利用できます。

[ファイアウォールとセキュリティ設定の構成](#)

## Pmail ファイアウォール (Pmman)



## アウトLOOK設定内容

### アカウントの追加

#### POP と IMAP のアカウント設定

お使いのアカウントのメール サーバーの設定を入力してください。

#### ユーザー情報

名前(Y):

電子メール アドレス(E):

#### サーバー情報

アカウントの種類(A):

受信メール サーバー(I):

送信メール サーバー (SMTP)(O):

#### メール サーバーへのログオン情報

アカウント名(U):

パスワード(P):

パスワードを保存する(R)

メール サーバーがセキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) に対応している場合には、チェック ボックスをオンにしてください(Q)

### インターネット電子メール設定

全般 送信サーバー 詳細設定

#### メール アカウント

このアカウントを表す名前を入力してください ("仕事", "Microsoft Mail サーバー" など)(N)

#### その他のユーザー情報

組織(O):

返信電子メール(R):

#### アカウント設定のテスト

アカウントをテストして、入力内容が正しいかどうかを確認することをします。

アカウント設定のテスト(T)

[次へ] をクリックしたらアカウント設定を自動的にテストする(S)

#### 新しいメッセージの配信先:

新しい Outlook データ ファイル(W)

既存の Outlook データ ファイル(X)

参照(S)

### テスト アカウント設定

テストの処理中にいくつかのエラーが発生しました。詳細についてはエラーの一覧を参照してください。推奨する解決方法を行っても問題が解決しない場合は、お使いのインターネット サービス プロバイダーに連絡してください。

中止(S)

閉じる(C)

タスク エラー

- 受信メール サーバー (POP3) へのログオン: 受信 (POP3) メール サーバーに接続できません。このメッセージを引き続き受信する場合は、サーバー管理者がインターネット サービス プロバイダー (ISP) に問い合わせてください。
- テスト電子メール メッセージの送信: 送信 (SMTP) メール サーバーに接続できません。このメッセージを引き続き受信する場合は、サーバー管理者がインターネット サービス プロバイダー (ISP) に問い合わせてください。

### インターネット電子メール設定

全般 送信サーバー 詳細設定

送信サーバー (SMTP) は認証が必要(O)

受信メール サーバーと同じ設定を使用する(U)

次のアカウントとパスワードでログオンする(L)

アカウント名(N):

パスワード(P):

パスワードを保存する(R)

セキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) に対応(Q)

メールを送信する前に受信メール サーバーにログオンする(I)

### インターネット電子メール設定

全般 送信サーバー 詳細設定

#### サーバーのポート番号

受信サーバー (POP3)(I):  標準設定(D)

このサーバーでは暗号化された接続 (SSL/TLS) が必要(E)

送信サーバー (SMTP)(O):

使用する暗号化接続の種類(C): なし

#### サーバーのタイムアウト(T)

短い  長い 1 分

#### 配信

サーバーにメッセージのコピーを置く(L)

サーバーから削除する(R) 14 日後

[削除済みアイテム] から削除されたら、サーバーから削除(M)

## アカウント管理設定

ファイル(F) オプション(O) ツール(T) 外部ソフト(E) ヘルプ(H) バージョン(A) 最小化(N)

ステータス **アカウント管理** サーバー管理

#	アカウント	エイリアス	ボックス名	ドメイン	最終変更日	最大容量	タイプ	送信制限	送信...	受信制限	変
00001	shin	shin	shin	ja5bga.com	2021/10/19 20:54:59	0	通常	0	0	0	変
00002	bga_log	bga_log	bga_log	ja5bga.com	2015/01/19 10:53:45	0	メーリングリスト	0	0	0	変
00003	edxg	edxg	edxg	ja5bga.com	2015/01/19 10:53:34	30,720,000	メーリングリスト	10,240,000	0	0	変
00004	edxg-ml	edxg-ml	edxg-ml	ja5bga.com	2015/01/19 10:53:21	0	メーリングリスト	0	0	0	変
00005	shin-n	shin-n	shin-n	ja5bga.com	2015/02/12 15:41:57	0	通常	30,720,000	0	0	変
00006	bga_test	bga_test	bga_test	ja5bga.com	2021/10/19 20:55:28	51,200,000	メーリングリスト	30,720,000	0	0	変

## サーバー管理 (全体)

### 基本設定

全体 SMTP用 各種フィルタ 転送 ログ POP・MTA TLS通信 監視 DKIM署名(beta)

基本設定 **基本設定2** 拡張設定 特殊コマンド ステータスマニタ Webサーバ マルチプロセス

管理ドメイン一覧・ドメイン別設定

--- ja5bga.com

右クリックでドメインメニューを表示

SMTP を有効 ポート番号 25 同時接続 100  
 POP3 を有効 ポート番号 110 同時接続 100  
 MTA を有効 キャッシュ時間 480 分 並列数 30

MTA再送カウント 300,900,1800,3600,10800,21600,43200 デフォルト

サーバIPの指定

通常は空欄を指定

サーバ名及びDNSサーバ

基本サーバ名 ja5bga.com  
プライマリDNS(IP) 211.121.17.68  
セカンダリDNS(IP) 211.121.17.70

DNS Serverを自動で取得

時差(Time zone) +09:00  
POP before SMTP 30 秒(有効時間)  
MUA タイムアウト 180 秒  
MTA タイムアウト 120 秒  
サーバ容量チェック 50 MB

### 基本設定 2

基本設定 **基本設定2** 拡張設定 特殊コマンド ステータスマニタ Webサーバ マルチプロセス

アカウントをメモリへ読込  受信処理をファイルに書込  下記IPのホスト名を取得しない Set Default

ホスト名を取得  ホスト名をDNSから取得  
 国際化ドメインを使用  @以降をホスト名としてlookup

PMail Server のバージョンを出力しない

コネクションモニタを利用する

認証設定

アカウントで認証する

IPv6 対応

IPv6 を有効にする

優先ルーティング IPv6を優先

IPv4 を無効にする

同一IPからの最大同時接続数

SMTP 0 POP3 0

Hosts を参照

空欄指定で hosts を参照しません。

参照

## サーバー管理 (全体)

### 拡張設定

ステータス アカウント管理 **サーバー管理**

設定を再度読み込む 設定を保存する **設定変更の場合は保存しサービスを再起動して下さい。**

全体 SMTP用 各種フィルタ 転送 ログ POP・MTA TLS通信 監視 DKIM署名(beta)

基本設定 基本設定2 **拡張設定** 特殊コマンド ステータスマニタ Webサーバ マルチプロセス

接続時ウェイト  ms

ログ排他的処理

ウェイト(ms)

リトライ

本ページの設定は PMailServer2 のチューニング用です。  
設定の仕方によっては問題が発生する場合がありますので必ず確認を行いながら設定を行って下さい。

## サーバー管理 (全体)

### ステータスマニター

全体 SMTP用 各種フィルタ 転送 ログ POP・MTA TLS通信 監視 DKIM署名(beta)

基本設定 基本設定2 拡張設定 特殊コマンド **ステータスマニタ** Webサーバ マルチプロセス

ステータスマニターを利用する

サーバー指定

ステータスマニターIP

ポート番号

ブロードキャストを利用

サーバーID  半角英数字で5桁

SMTP

接続・切断  プロテクト  セキュリティ

POP3

接続・切断  プロテクト  セキュリティ

IMAP4

接続・切断  プロテクト  セキュリティ

MTA

成功  再送  エラー

### 特殊コマンド

全体 SMTP用 各種フィルタ 転送 ログ POP・MTA

基本設定 基本設定2 **拡張設定** 特殊コマンド ステータスマニタ

PASSCHG

POP3 で利用する

文字数  から

アルファベット文字種

数字文字種

記号文字種

### WEBサーバー

全体 SMTP用 各種フィルタ 転送 ログ POP・MTA TLS通信 監視 DKIM署名(beta)

基本設定 基本設定2 拡張設定 特殊コマンド ステータスマニタ **Webサーバ** マルチプロセス

サーバーマネージャー起動時に内蔵 Web サーバーを起動する。

基本設定

ポート番号

認証用ID

パスワード

認証方式

Private IP からのみ接続

コマンド

起動	<input type="text" value="start"/>	SMTPメンテナンス	<input type="text" value="msmtp"/>
停止	<input type="text" value="stop"/>	POP3メンテナンス	<input type="text" value="mpop3"/>
再起動	<input type="text" value="restart"/>	IMAP4メンテナンス	<input type="text" value="mimap4"/>
ステータス	<input type="text" value="status"/>	MTAメンテナンス	<input type="text" value="mmta"/>

空欄でコマンド無効

https 設定

httpsを有効にする 証明書ストア

TLS1.0 を利用 ホスト名

TLS1.1 を利用

TLS1.2 を利用  TLS1.3 を利用

ログ設定

アクセスログ

エラーログ

%s %m %d が利用できます

## サーバー管理 (全体)

### マルチプロセス (基本設定)

全体 SMTP用 各種フィルタ 転送 ログ POP・MTA TLS通信 監視 DKIM署名(beta)

基本設定 基本設定2 拡張設定 特殊コマンド ステータスマニタ Webサーバ マルチプロセス

基本設定 各プロセスの役割 スレッドの優先順位

マルチプロセス機能を有効 初めにマルチプロセス機能を利用する場合や、プロセス数の変更を行った場合は一度サーバーを停止しサービスをアンインストールした上で、再度サービスのインストールを行って下さい。利用停止の場合も同様です。

同時起動数  /2

同時起動数は、親プロセスを除いた子プロセスの数を指定します。  
5を指定した場合、全部で起動する pmservice.exe は 5 起動します。

子プロセスを監視する

プロセス割当方式(Pro)

シーケンシャル シーケンシャルは若いプロセス順に割り当てていき、若いプロセスに割当ができなくなったら次のプロセスに割当を行います。

ラウンドロビン ラウンドロビンは、接続時に各プロセスへの接続状況を確認し、接続数が少ないプロセスから割当を行います。接続確認のためのパフォーマンスが若干落ちます。

### スレッドの優先順位

全体 SMTP用 各種フィルタ 転送 ログ POP・MTA TLS通信 監視 DKIM署名(beta)

基本設定 基本設定2 拡張設定 特殊コマンド ステータスマニタ Webサーバ マルチプロセス

基本設定 各プロセスの役割 スレッドの優先順位

SMTP 通常 各プロトコルが利用するスレッドの優先順位を変更します。  
スレッドの優先順位は、OS から見た相対的な順位となります。  
通常の利用は「通常」から変更する必要はありません。

POP3 通常

IMAP4 通常 通常よりも高くなった場合、他のアプリケーションよりも優先して実行されます。  
この場合、他のアプリケーションのパフォーマンスに影響がありますので設定にお注意して下さい。

MTA 通常

### プロセスの役割

基本設定 各プロセスの役割 スレッドの優先順位

P#	SMTP	POP3	IMAP4	
1	ON	ON	---	

プロセス番号

SMTP 有効

POP3 有効

IMAP4 無効

変更

プロセス数を変更した場合は一旦保存を行って下さい。  
プロセス数にあわせて欄が追加されます。

# サーバー管理 (SMTP用)

## 動作設定

全体 **SMTP用** 各種フィルタ 転送 ログ POP・MTA TLS通信 監視 DKIM署名(beta)

動作設定 **動作設定2** 動作設定3 動作設定4 SMTP認証 送信者認証 送信制限(Pro版のみ)

1回の送信で指定出来る宛先数(0で無制限)	100	指定回コマンドエラーで切断(0で非切断)	5
MAIL FROMで空アドレスを受付(RFC821)	OFF	SMTP禁止接続の処理	受信して ヘッダを追加
中継許可IPIはSMTP認証の影響を受けない	OFF	非ローカルアドレス受信	<未使用>
タイムアウト又は不完全なメールは破棄する	OFF	受信制限サイズ	0
ヘッダに Sender: を追加(RFC4409)	ON	制限ルール	外部からの受信のみ制限
ヘッダに Message-ID: を追加(RFC4409)	ON	自動返信信用アドレス	受信者
ヘッダに Date: を追加	無い場合に追加	自動返信件名	Autoreply from %m
ヘッダに From: を追加	無い場合に追加	Addonタイムアウト(ms)	0
送信者のドメインを厳密にチェック	ON	ローカル向けフォワードをMTA経由で処理	OFF
存在しないドメインからの送信	受信を拒否	セッション最大接続時間	0 分
ドメイン確認方法	メールレコード	DNS待機時間(秒)	10 リトライ 3

メーリングリストを予約処理

## 動作設定3

ステータス アカウント管理 サーバー管理

設定を再度読み込む 設定を保存する **設定変更の場合は保存しサービスを再起動して下さい。**

全体 **SMTP用** 各種フィルタ 転送 ログ POP・MTA TLS通信 監視 DKIM署名(beta)

動作設定 動作設定2 **動作設定3** 動作設定4 SMTP認証 送信者認証 送信制限(Pro版のみ)

<b>逆引きチェック</b> <input checked="" type="checkbox"/> 逆引きチェックを行う <input type="checkbox"/> ヘッダにマークを記録 IPv4 接続時 逆引き後に正引きを確認。 IPv6 接続時 逆引き後に正引きを確認。	<b>転送制限</b> 最大回数 25 <input type="checkbox"/> Received をカウント <input type="checkbox"/> MTA処理を対象	<b>HELOチェック</b> <input type="checkbox"/> HELOチェックを行う <input type="checkbox"/> ヘッダにマークを記録
<b>Return-Path 置換</b> <input type="checkbox"/> 送信者がローカルの場合に置換する <input type="checkbox"/> 送信者がローカル以外の場合に置換する ローカルユーザー ローカルユーザー以外	<b>送信メールのバックアップ</b> <input type="checkbox"/> 送信メールのバックアップ <input type="checkbox"/> 外部への送信のみ対象 <input type="checkbox"/> 添付有りを対象 <input type="checkbox"/> To,CC,BCC 等を重複保存しない <input type="checkbox"/> Message-ID で重複チェック Sendback フォルダ	
<b>管理用保存</b> <input type="checkbox"/> 管理保存を行う Debug フォルダ <input type="checkbox"/> Received を追加する	<b>添付ファイルチェック(Pro版のみ)</b> <input type="checkbox"/> 添付ファイルをログに記録する	

## 動作設定2

全体 **SMTP用** 各種フィルタ 転送 ログ POP・MTA TLS通信 監視 DKIM署名(beta)

動作設定 動作設定2 **動作設定3** 動作設定4 SMTP認証 送信者認証 送信制限(Pro版のみ)

SMTP フィルタ設定

SMTP フィルタを有効  ドメイン単位フィルタ

サーバの Trash フォルダへ保存

管理者へ通知 <未使用>  別ログに記録

500 KBytes 以下を対象とする

ユーザー用SMTPフィルタを無効

本文も件名も無いメールを処理する  リアルタイム更新  
 件名に2byteCode含むメールを処理  
 中継時にフィルタを有効  フィルタ優先順位を学習  
 ペイジアンフィルタを有効  ペイジアンフィルタを多重化  
250 KBytes 以下を対象とする  
 フィルタチェック前に Received を書き込む

GreetPause

接続遅延処理 0 秒間待機(0で無効)

ホホワイトリスト キャンセルHELO キャンセルRCPT 除外ヘッダキー

ホホワイトリスト以外からは拒否

## 動作設定4

全体 **SMTP用** 各種フィルタ 転送 ログ POP・MTA TLS通信 監視 DKIM署名(beta)

動作設定 動作設定2 動作設定3 **動作設定4** SMTP認証 送信者認証 送信制限(Pro版のみ)

メールボックス容量無視

Nullメールからは容量無視

除外メールアドレスリスト

拡張アドレス

拡張アドレス(\*\*\*+\*\*\*@example.com)を利用する

文字1  文字2  文字3

+ 以外の記号を使う場合は上記に設定します。  
追加セパレータは半角英数字記号1文字で指定します

MAIL FROM で拡張アドレスをそのまま利用する

ローカルユーザー制限

1st SMTP での送信を禁止  
 2nd SMTP での送信を禁止  
 SMTP over TLS での送信を禁止  
 例外にSMTPフィルタを使用

リレーの禁止

1st SMTP で禁止  
 SMTPs で禁止

# サーバー管理 (SMTP用)

## SMTP認証



動作設定 動作設定2 動作設定3 動作設定4 **SMTP認証** 送信者認証 送信制限(Pro版のみ)

SMTP認証

認証無し  認証を必要  PLAIN  LOGIN  CRAM-MD5

submissions(465)のみ適用

Submission で使用する認証

Submissionポートを有効  PLAIN  LOGIN  CRAM-MD5

SMTP認証除外IPアドレス

説明

SMTP認証を設定します。  
有効にした場合はクライアント側でSMTP認証を有効する必要があります。

設定保存時に自動更新を行う

## 送信者認証

動作設定 動作設定2 動作設定3 動作設定4 SMTP認証 **送信者認証** 送信制限(Pro版のみ)

SPF Classic / SenderID 認証

SPF Classic / SenderIDで送信元認証を行う  OFF

SPF情報のキャッシュ時間 単位は分 60

SPF情報による処理 SPF情報を書き込んでスルー

SPF問い合わせ時DNSタイムアウト時間(秒) 10

SPF問い合わせ時DNSリトライ回数 6

各種フィルタの接続許可又はPASSを SPF にも適用

SenderID 方式(PRA)を利用する

ペイジアンフィルタと連動させる

PASS spam非学習 PASS ALL spam学習

FAIL spam学習 SOFTFAIL 何もしない NEUTRAL 何もしない

ローカル送信者確認

ローカル送信者確認を有効にする

プロトコル中アドレスと一致しない場合は拒否

PrivateIPからの送信アドレスリストを適用

SPF / SenderID について

複雑なSPF情報を登録しているサーバへ対して繰り返し問い合わせを行う場合 DNS への負荷が増大します。タイムアウト時間及びリトライ回数を増やした場合 SMTPのパフォーマンスが落ちる場合があります。

## 送信制限

動作設定 動作設定2 動作設定3 動作設定4 SMTP認証 送信者認証 **送信制限(Pro版のみ)**

チェックを有効

識別アドレス	BCC	サイズ	添付	HTML除外	必須アドレス	管理者アドレス

設定

識別アドレス

BCCが指定  添付ファイル  TEXT/HTMLは除外 サイズ  -1 KB

必須宛先  管理者アドレス

新規 追加 削除

SMTP認証の部分とアウトルックとの組み合わせた設定に悩んでいます。  
セキュリティ上のもっともよい組み合わせをアドバイス願えればと思います。

## サーバー管理（各種フィルター ～ 転送）全て未変更 ダイレクトチェックタイプ

ステータス アカウント管理 **サーバー管理**

設定を再度読み込む 設定を保存する 設定変更の場合は保存しサービスを再起動して下さい。

全体 SMTP用 **各種フィルター** 転送 ログ POP・MTA TLS通信 監視 DKIM署名(beta)

●ダイレクトチェックを使用 ○フィルタチェックを使用

ダイレクトチェックタイプ フィルタチェックタイプ 中継許可設定 動的フィルター MTAフィルター DNSBL

DNSBL キャッシュ設定

キャッシュ件数 500 キャッシュ時間(分) 60

説明

DNS を使った不正中継及び SPAM のブラックリストを確認出来るホストを指定します。チェックされる順番は上から行われます。複数行の設定が可能です。意味もなく増やすとトラフィックが増えます。問題の無いホストでもリストの状況によって拒否される場合がありますので注意して下さい。信頼できるホストは接続許可ホスト(IP)リストへ登録しておくこととリストにあっても受信します。

接続用の設定を変更した場合は、必ず「設定」タブの「設定を保存する」ボタンを押して設定を保存して下さい。

## サーバー管理（ログ）ログファイル設定 全て3に変更

ステータス アカウント管理 **サーバー管理**

設定を再度読み込む 設定を保存する 設定変更の場合は保存しサービスを再起動して下さい。

全体 SMTP用 各種フィルター 転送 **ログ** POP・MTA TLS通信 監視 DKIM署名(beta)

ログファイル設定 オプション

SMTP Log Level **3** ログファイル名 %y-%m-%d\_smtp.log Submissionログファイル名 %y-%m-%d\_subsmtp.log

SMTPプロトコルエラー プロトコルエラーを記録しない

POP3 Log Level **3** ログファイル名 %y-%m-%d\_pop3.log

APOP Log Level **3** ログファイル名 %y-%m-%d\_apop.log

MTA Log Level **3** ログファイル名 %y-%m-%d\_mta.log

ログファイル命名規則ヘルプ

追加ログ

配信レポートファイル名

SMTPLレポートファイル名

セキュリティログ

## オプション

ログファイル設定 **オプション**

JobID

JobID を追加

JobID は各スレッドに割り当てられる任意のIDです。同一スレッド番号の接続を区別する為に利用します。

ログ切り替え

行う

日付が切り替わった時点でログを一旦クローズし新しく開きなおします。

ログ追加情報

SMTP ログで有効  認証ログを有効

POP3 ログで有効  認証ログを有効

IMAP4 ログで有効  認証ログを有効

MTA ログで有効

ログの追加情報を有効にします。デフォルトでは全て ON です。追加情報はログ上では確認の出来ない内部での挙動等を記録するオプションとなります。サーバーの設定を全て把握している場合でログを縮小したい場合に利用します。

ログキャッシュ処理

SMTP ログで有効

POP3 ログで有効

IMAP4 ログで有効

MTA ログで有効

ログ出力をキャッシュします。高レベルでの処理速度が改善されますが時系列が並び替えられ、異常終了した場合は記録されない場合があります。

# サーバー管理 (POP・MTA)

## POP設定

このページが全体的に理解が難しいです？

## MATA基本設定2

ステータス アカウント管理 サーバー管理

設定を再度読み込む

設定を保存する

設定変更の場合は保存しサービスを再起動して下さい。

全体 SMTP用 各種フィルタ 転送 ログ POP・MTA TLS通信 監視 DKIM署名(beta)

POP3 MTA基本設定 MTA追加設定 その他

### POP認証

プレーン + APOP認証 + POP AUTH  APOP認証 + POP AUTH

AUTH単独に応答しない

### POP3 Simple Authentication and Security Layer (SASL)

PLAIN  LOGIN  CRAM-MD5

### POP3受信制限

制限をしない

0 日

### メールボックスチェック

ファイルチェック無効

UIDチェック有効

### APOPポート(112)

APOPポートを有効

特に理解が難しいです？

POP3 MTA基本設定 MTA追加設定 その他

### リターン(エラー)メール

送信アドレス <未指定>

ドメイン別送信アドレスを利用

編集

ローカル外受信 <未使用>

エラー件名 Mail Transfer ERROR!

ペンドイング件名 Mail is pending.

タイミング -1

SMTP経由で送信

ローカル以外にも送信

DSN形式で送る

DSNにオリジナルも添付

### 配信オプション

外部への配信を禁止

応答が無い場合も次のMXを参照する

DNSの応答が無い場合も再送処理

localhostへの同時接続数 0

POP3 MTA基本設定 MTA追加設定 その他

### ロストメールの保存

ロストメールを保存

imdをセットで保存

指定アカウントへ通知

### 配信優先度設定

通常

### MTA実行時刻

0-23

### Spoolクリーンアップ

有効

5

分後

に削除

### MTAウェイト

2000 ミリ秒 配信を行うメールの確認間隔を指定します。

デフォルトは2,000です。下げる程、高頻度で確認を行いますが、CPU負荷は高まります。

排他的処理のウェイトを解除する(マニュアル必読)

### MTA強制再起動

有効

30

分経過後

再起動

指定アカウントへ通知

POP3 MTA基本設定 MTA追加設定 その他

### Trashフォルダ

確認 削除

### Cacheフォルダ

90 日以前を削除

### ファイルの更新

更新元の filte.txt

参照

更新

更新元のファイルを指定して更新を行います。

### Webmail / IMAP4 フォルダ処理

親フォルダを削除しても子フォルダは削除しない

親フォルダを削除した場合、子フォルダも削除する

# サーバー管理 ( TLS ) 基本設定

# 証明書設定

全体 SMTP用 各種フィルタ 転送 ログ POP・MTA **TLS通信** 監視 DKIM署名(beta)

**基本設定** 証明書 TLSログ SMTP除外 MTA for STARTTLS

SSL/TLS動作設定

- SSL/TLS を有効にする  有効期限切れは利用しない
- SMTP STARTTLS を有効  Submission を over SSL
- POP3 STARTTLS を有効  SMTP(587) で STARTTLS を有効
- IMAP4 STARTTLS を有効  転送時に SMTP over SSL を有効

プロトコル

デフォルト  
 プロトコル指定

SSL3  TLS1  
 TLS1.1  TLS1.2  
 TLS1.3

プロトコル(MTA)

デフォルト  
 プロトコル指定

SSL3  TLS1  
 TLS1.1  TLS1.2  
 TLS1.3  
 TLS拡張を利用

サービス設定

SMTP over TLS を無効  
 POP3 over TLS を無効  POP3sのみ有効  
 IMAP4 over TLS を無効  IMAP4sのみ有効

ポート番号

Submissions 465 POP3s 995  
IMAP4s 993

セキュリティ

強い暗号のみ使用

自動認識

SSL/TLS通信を確認

全体 SMTP用 各種フィルタ 転送 ログ POP・MTA

基本設定 **証明書** TLSログ SMTP除外 MTA for STAF

証明書

デフォルトFQDN

フレンドリ名

証明書ストア **個人**

アカウント LocalSystemAccount

基本設定 **証明書** TLSログ SMTP除外 MTA for STARTTLS

**ログ設定**

SMTPS Log Level 1 ログファイル名 %y-%m-%d\_smtps.log

POP3S Log Level 1 ログファイル名 %y-%m-%d\_pop3s.log

IMAP4S Log Level 1 ログファイル名 %y-%m-imap4s.log

CryptAPI ログ

ログを有効にする

通常はオフにします。SSL/TLS 通信で問題が発生した場合に初期化とハンドシェイクログのエラーログを別ファイルで記録を行います。

基本設定 **証明書** TLSログ SMTP除外 MTA for STARTTLS

SMTP から STARTTLS 除外ホスト

リストに記載された接続元は STARTTLS の利用応答をしないようします。  
本設定は保存後再起動の必要無し

基本設定 許可・除外 ホスト別プロトコル指定

MTA for STARTTLS を有効にする

フォールバック処理

- フォールバックは行わず SSL/TLS でのみ通信を行う。
- SSL/TLS のネゴジーション又はハンドシェイクに失敗した場合、そのまま平文送信に移行。
- SSL/TLS のネゴジーション又はハンドシェイクに失敗した場合、次の再送時に平文で送信を行います。
- SSL/TLS通信に失敗した場合、次の再送時に平文で送信を行います。

HELO処理

- STARTTLS 後に HELO
- STARTTLS 後に EHLO

## サーバー管理 (監視) ポート設定

全体 SMTP用 各種フィルタ 転送 ログ POP・MTA TLS通信 **監視** DKIM署名(beta)

**ポート監視** DoS監視(Pro版)

ポート監視

ポート監視を利用する  異常時メール通知  異常時サービスを再起動

監視ポート

監視間隔1  秒 通知サーバ  ポート番号

監視間隔2  秒 送信アドレス  宛先アドレス

認証方式

認証ID  認証パス

ポートロギング

記録対象ポートをログに出力  プロセスID / プロセス名も記録

LISTEN は記録しない

記録ポート

異常時に全ポートを記録

ポート監視 **DoS監視(Pro版)**

SMTP/POP3/IMAP4 全てのポートに対して指定した時間内に、同一IPからしきい値管理者へ警告メールを発信します。

DoS検知機能を利用する

基本設定 自動ブロック 監視除外IP

指定時間(分)   収束を報告する  接続以上

接続回数

接続IP数  接続IP数の送信間隔(分)

保存アカウント

外部アドレス

ログにリストを出力  接続以上

## サーバー管理 (DKIM) 基本設定

全体 SMTP用 各種フィルタ 転送 ログ POP・MTA TLS通信 監視 DKIM署名(beta)

基本設定 **ドメイン別設定** 署名テスト

DKIM署名を行う

正規化  simple 署名アルゴリズム  rsa-sha256

署名に含めるヘッダ

**カンマ区切りで設定**

全体 SMTP用 各種フィルタ 転送 ログ POP・MTA TLS通信 監視 DKIM署名(beta)

基本設定 **ドメイン別設定** 署名テスト

ドメイン名	セレクタ	プライベートキーフルパス

ドメイン設定

ドメイン名  セレクタ

プライベートキー(pem)へのフルパス

全体 SMTP用 各種フィルタ 転送 ログ POP・MTA TLS通信 監視 DKIM署名(beta)

基本設定 **ドメイン別設定** 署名テスト

From: user@example.com  
To: user@example.org  
Subject: DKIM TEST MAIL  
Content-Type: text/plain; charset="iso-2022-jp"

This mail is DKIM Test mail.

テスト署名を行う場合は、ドメイン別設定で対象を選択してから実行して下さい。